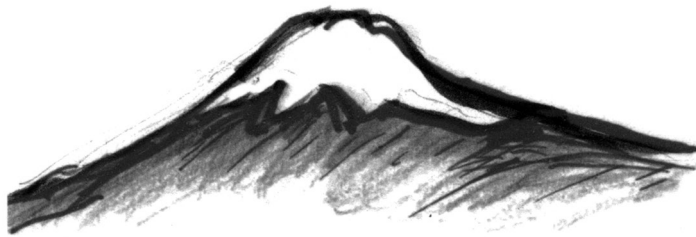


洞林寺護持会会報

錦 糺

令和五年新年号(通算162号)



平和で おだやかな
年でありますように
うさぎさん



謹賀改歳

令和五年 癸卯歳元旦
みずのとう

御尊家御一同様の

御清祥と御多幸を祈り、

謹んで新年の

ご挨拶を申し上げます

誰もが感染するリスクを

抱えて生活しています

感染者が安心して療養できる社会

感染者を支える社会にしましょう

錦柳山洞林寺 住職

吉田俊英

文化と伝統を 守り伝えていくこと

洞林寺住職

1、大宅壮一氏の講演の言葉

評論家大宅壮一氏は一九五四年から一九五五年にかけて取材旅行で世界各地を訪問しました。帰国後、この時の見聞を著書『世界の裏街道を行く』（一九五六年、文芸春秋）にまとめました。大宅氏は取材と同時に、請われて各地で講演しており、ブラジルで講演したことが現地の日系雑誌に紹介されています。

講演の中で「ブラジルの日本人間には、日本の明治大正時代が、そのまま残っている。明治大正時代がみなければブラジルに観光するがよいと、日本に帰ったら言う積もりです。」と大宅氏は語った。ブラジルの聴衆のウケを取るために語った言葉のようですが、「日本の明治大正時代」という言葉を肯定的な意味で使っています。

「明治の日本がブラジル日系社会に残っていること」に大宅氏は驚き、そして敬意を感じました。ブラジルの日本語新聞の記者は「大宅氏自身を含めた日本人が大東亜戦争の敗戦を境にすっかり変わり、(ブラ



評論家 大宅壮一氏

ジル訪問で)日本人が今まで有していたメ
ンタリティーを完全に忘却していることに
気付かされての驚きであったのではない
か。」という趣旨のコメントを書いています。

「日本の明治大正時代」が具体的に何を
指すのか、大宅氏は言及していません。

日本からの移民が住んでいた多くの入植
地では、日本の田舎がそっくり再現され、
各家には仏壇と神棚を祀られていました。
神仏を礼し、先祖を敬い、義と礼節を重ん
じる生活をしてきたのです。其処にはまさ
に「日本の明治大正時代」が有ったのだと
思います。ローランジャ市にある移民資料
館には復元された「移民の家」からも日系
移民の日本文化を大事にした生活が窺われ
ます。



ローランジャ市 移民資料館の「移民の家」

サンパウロ市のような大都市では、味噌・醤油・豆腐が売られています。大都市のローランジャにはそういう専門業者は無いので、最近まで自宅で味噌や豆腐を製造する方が居ました。ブラジルの日系入植地では、日本の農村の食文化が継承されてきました。

日本からの移住者が日本から種を取り寄せ、日本由来の野菜を栽培し普及させてきました。白菜、ニラ、セリなどの葉菜類、ダイコン、コカブ、ナガイモなどの根菜類、トウガン、ユウガオなどの果菜類などを日本から導入されています。食文化の面からも、日系社会で日本文化が継承されてきたことが窺えます。

2、日系人から学ぶ日本人の誇り

高度経済成長期になって、日本商社や鉱工業が世界に進出し、ブラジルにも多くの支社支店合弁会社が設立されました。これらの企業がブラジルでの経済活動を行う上で、日系移民が築いてきた信用が大きな助力となったそうです。最近、かつて商社マンとしてブラジルで働いた和歌山在住の真砂陸氏のエッセーを読む機会がありました。引用させて戴きます。

「私は一九七〇年代前半、リオデジャネイロに住んだことがあるが、日本人が信用されているおかげでずいぶん助けられた。当時、鉄鉱山開発事業準備のために州をまたいで出張することが多かった。まだクレジットカードが普及していない

時代。経費の支払いは小切手が一般的だったが、小切手は不渡りのリスクがあり、別の州に住んでいる人物の小切手は受け取ってくれないのが通常だった。

リオ州発行の小切手しか支払い手段を持たない私は当初、大いにとまどったが、相手が私を日本人と知ると、例外なくオーケーと行って小切手を受け取ってくれた。その時、先人が懸命に築き上げた、日本人や日系人に対する信用という財産のありがたさを身を以て体験した。こうした信頼の基となっているのが「正直、勤勉、約束を守る」といった日系人の気質。それを日系人自身も良く認識しており、今もその遺産を次の世代に引き継いでいる。」

時代の流れの中で、すべて普通りとはいかない面も多いとは思いますが。しかし、こういう時代であっても「正直、勤勉、約束を守る」ということの価値は変わりません。変わってはならないと思います。先人が伝え守ってきたことを後世に伝えて行く。海外の日系社会でも、其の故郷である日本社会でも、大切に守り伝えて行きたいものです。伝えて行きましょう。

新しい年を迎えて

洞林寺護持会長 和田哲郎

新年明けましておめでとうございます。護持会会員の皆様におかれましては、清々しく新年をお迎えになられたことと存じます。

昨年一昨年と新型コロナウイルスの感染に翻弄され、ひと頃とは違い行動制限もいくらか緩和されました。しかしその度に感染が拡大し、今は第八波が襲いかかっております。今なお収束が見えない状態であります。

そんな中、洞林寺と護持会での協議の結果、護持会行事を感染防止に気を付けながら規模を縮小し執り行いました。当日の参加者は少数でしたが、お盆中に塔婆を取りに来る方が多数居たり、会費を通して先祖に気持ちを届ける方も多数居られました。供養の参加者は例年と変わらない程でした。これも皆様方のご理解とご協力のことで感謝申し上げます。

今年令和五年は洞林寺護持会発足五十周年に当たります。これまでの歴代会長、歴代役員各位そして護持会会員の皆様が、護持会へ寄せる並々なぬ思いがあったからだと思います。

本年こそ新型コロナウイルスが終息することを願って止みません。本年も洞林寺と護持会が話し合い協力しあつて諸行事を執り行い、併せて護持会設立五十周年行事が盛大に開催できますよう役員一同尽力する所存です。護持会会員皆様もご理解のうえご参加ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

曹洞宗第二教区護持会 令和四年度講演会に参加して

護持会副会長 横田俊明

去る十月二十四日仙台サンプラザにおいて開催されました曹洞宗第二教区護持会令和四年度講演会に参加して参りました。当護持会からも秋彼岸法要の際にご案内いたしましたこともあり沢山の方々がお見えになっておりました。新型コロナウイルス感染のため三年ぶりの開催とあつて会場は満席に近しい状態でありました。

講師には東北弁落語家でお馴染みの六華亭遊花師匠、当護持会でも護持会創立四十年記念事業でお招きいたしました。それから十年近くになります。最近では師匠にふさわしく風格と貫禄がにじみ出ておりました。



10月24日 高座で口演する六華亭遊花師匠

さて六華亭遊花の芸名であります。平成二十四年四月三遊亭遊三（三遊亭小遊三の師匠）一門として噺家となりました。六華亭の由来は東日本大震災を契機として東北六県に華を咲かせましようと言う意味で名づけられました。東北弁での落語は、夫婦の笑いと東北のばあちゃんたちの人情で「ほろっと素朴な温かみ」を染み込ませます。演目は「つづらの嫁ご」と「熊の皮」の二題でした。「つづらの嫁ご」は川向うから嫁いだ嫁の悲哀物語をおかしく明るく演じていました。「熊の皮」はいつも女房

の尻に敷かれている亭主の話でした。

口演の合い間に話される落語家になった当時の苦労話や、世間話などは女性の視点からよく観察され観客を魅了しておりました。とにかく長生きするには笑ったほうが得をする。と結んでおりましたことを報告いたします。

教区護寺会講演会 異聞

護持会副会長 佐藤 泰 憲

過日の第二教区護持会の講演会は、横田俊明副会長のご報告の通り、六華亭遊花師匠の熱演で盛り上がり、参加者は楽しい時間を久しぶりに楽しみました。

斜めから観る事が好きな小生は、師匠を紹介する際の「魅知国定席 花座」の担当者の前説的な話が楽しく印象に残りましたので、誌上再録の形でご紹介します。

● コロナ禍の夫婦喧嘩

熱は冷めても、セキ（咳 or 籍）はぬけない

● あの人は、頼りになるけど、当てにはならない

● 近所の噂話では、隣の婆様がスイミングスクールに通いだしたらしい。なんでも、そろそろお迎えが近いが、三途の川を渡る船賃が無いので、泳いで渡ろうと思ったので習い始めたそう。

これを知った、その嫁さんが、スクールに駆けつけ、コーチに必死に頼んだそう。うだ。「先生、お願いだから、ターンだけは、絶対に教えないで下さい」

「花座」は三越の西側向かいに在る、東北最大の常設寄席で、連日落語、漫才、講談等の演芸を楽しめる場所、遊花師匠も出演しています。その関係での当日の寄席の司会となったと思うのですが、前述の三つの小話を交えての、講師紹介は、業界人とはいえ、感心したので、あの日の雰囲気とを少しでもと思い、再現してみました。



みちのくじょうせき
魅知国定席 花座

ブラジルからの

介護研修生を迎えて

洞林寺寺族 吉田 ふく子

十一月十七日にJICA（国際協力機構）の支援による日系介護研修のブラジル人研修生七名が洞林寺に来られました。七月にブラジルから来られた十名は介護学を調査研究する大学教授や公務員でしたが、今回は病院や福祉施設の現場で働く方々のようでした。

以前にも会報に書きましたが、コロナ感染症防止のため外国人の入国を規制する前は、JICAの研修生は毎年仙台に来て研修で洞林寺や宮城県海外移住家族会による歓迎交流会を開催しておりました。そういう積み重ねも有って、研修を実施する介護事業社の「ゆらリズム」さんから「今回も研修生をおじゃまさせていただきませんか？ うか？」という依頼がありました。但し、新型ウイルスの感染者数が増えて「JICAからは他の方々の食事は控えて欲しいと言われています。」とのこと。

ささやかではありますが、美味しい和菓子とお抹茶で日本の味覚と文化を体験していただくことにしました。



洞林寺本堂を参拝した研修生の方々

当日、本堂に御案内して、私が「洞林寺先住吉田道彦和尚が昭和三十二年移民船に乗ってブラジルに渡り布教活動に努め、ローランジャ市に仏心寺を建てたこと。」
「移民船の同船者にサンパウロ大学で介護学を教える佐藤ローザ由香教授の御両親が居て、日本に帰国された際に道彦和尚の墓参りに来てくれたこと。」そして「洞林寺に海外移住物故者諸精霊を祀っているこ

と」を説明（通訳付き）し、本尊様とお位牌にお焼香していただきました。

その後、会館の二階に移動して、菓子舗「売茶翁」の菓子職人佐藤真守さんが和菓子を見せながら説明。佐藤さんは、戦前にご両親がブラジルに移住し、サンパウロ州で生まれ、戦後に家族で日本にいられた方です。研修生の方々は本格的な和菓子が初めてのように、興味深々。和菓子を食べてもらい、舌鼓を打ったところで、私がお茶を点てるところを実演して、お抹茶を召し上がっていただきました。

住職が二年前に開花したイペー（ブラジルの国花と呼ばれています）の写真を見せ、ブラジル国の国花イペーを日本で咲かせようと活動している日伯のグループ（正式名称「花咲翁の会」）があり、日本各地にイペーの苗木を植える話になった際に仙台の洞林寺も候補に挙がり、苗木が植えられたことを説明しました。

すると、パラナ州ロンドリーナ市から来た研修生が「歌手中平マリコさんのイペー音頭に合わせて盆踊りを踊っています。」という話をされたので、「じゃ、踊ってみて。」と私がお願いしました。「歌詞は覚えていないけど、踊りの動画があるのでみん

◎原稿募集

皆様のお便りをお待ちしております。



お抹茶の点て方を実演しました

「なで踊りましょう。」ということになり、スマホから流れてくるメロディーに合わせて、踊り始めました。さすがブラジル人はノリがいい。他の研修生もすぐさま踊り始めました。

東京在住の歌手中平マリコさんは長年ブラジルでチャリティーコンサートを開いており、ブラジル日系社会では有名な方です。「花咲翁の会」の会合に中平さんが参加した際、この会のためにイペー音頭を作詞作

身近かなニュース、心境などどうぞ
お寄せ下さい。

曲されたのだそうです。いろいろなところで御縁が繋がっているなと思いました。

短い時間でしたが、有意義な交流の時間を過ごすことが出来ました。道彦和尚が移民船でブラジルに渡ってから六十五年になります。其の時から御縁がこういう形で繋がっていることに感無量です。私も微力ながらブラジルの方々のご縁を大事に紡いできたつもりですが、それも娘たちや現住職や孫たちの協力のお蔭だと思います。そういう協力のお蔭で、この日の出会いもあったのだと感謝しております。

永平寺修行回想記 其の二十一

洞林寺副住職 吉田彦英

・侍真寮三八清掃

前回の修行回想記にもあったように永平寺山内一徹しい公務中期間が始まりました。約一週間後には公務点検があり、そこで当番公務がある程度できる判断をされると晴れて侍真寮員と認められます。

その点検は三八清掃の日に行われます。

三八清掃とは三と八のつく日に普段清掃しない場所を重点的に綺麗にする日です。

その日は永平寺山内全寮舎が普段より一層

清掃に励む日になります。侍真寮では御上壇清掃がこれに該当します。

朝の御上壇でのお勤め後、動かすことが出来る器物が侍真老師、供真和尚さんからどんどん手渡されます。それを素早く所定の位置に置いていきます。荘厳簾、燭台、線香香炉、燭の花瓶、蠟燭消し棒、茶湯器台、等々が対象物です。燭関連器物はゴム手袋をし熱湯で蠟を落とします。

茶湯器台、線香香炉は金属なのでピカール（金属磨き）でしっかり磨きます。線香や蠟燭の煤、煙によってかなり汚れています。五日ごとに三八清掃があるとはいっても、古雑巾で磨くとすぐに真っ黒になります。花瓶には新しい燭の束をトランプのスペードのような形に整えなければなりません。結束バンドでいくつかの束をうまく重ね合わせ、整えるセンスも必要とされます。

午前の全山作務の時間になると今度は御上壇内の清掃になります。安置されている道元禪師を始めとする五体の御尊像清掃は侍真老師、供真和尚が担当します。当番はその間、御上壇内の壁と床を清掃します。最初に壁と簾についている煤や埃をハタキで落としていきます。その後は床を箒で掃

きゴミを拾っていきます。御上壇内ではお尻を御尊像に向けないよう細心の注意を払わないといけません。箒で掃いたりゴミを拾うにしても、御尊像達に正対した形で動かなければなりません。侍真老師や供真和尚の進捗具合を見て終わりそうになったら御供所に戻り、今度は器物を中に戻す準備をします。

御尊像清掃が終わると供真和尚に指示された器物をどんどん手渡していきます。瞬時に対応できないと「遅い」という叱責が飛んできます。

どうにか先転役和尚の補佐もありながら三八清掃が終わりました。

その後は反省会が行われます。しかし供真和尚からは「動作が遅いし、ゴミも落ちている、金属にもくすみが残っている…」等々自分がやったことほぼ全てに指摘を受けました。初めてやることでしたので出来ない部分がそれなりにあるとは思っていましたが、ほぼ全ての点にダメ出しをもらったことに愕然とした気持ちになりました。

ただ次の公務の準備もあるので、振り返る時間も少ない中メモ帳に反省点を殴り書きしました。今後ちゃんとできるか大きな不安を持ちました。

・侍真寮の休憩と癒し

侍真寮はとにかく時間に追われる寮舎です。ちょっと休みたいなど思ってもなかなか休めませんし、公式な休憩時間は十五時〜十五時三十分までの三十分間だけと決まっています。寮員の大半はその時間を睡眠に使います。実際、深夜一時半起床の当番公務をすると日中に強烈な睡魔が襲ってきます。座つたら絶対寝てしまうのが自分でも分かるくらいの睡魔です。酷いとお膳

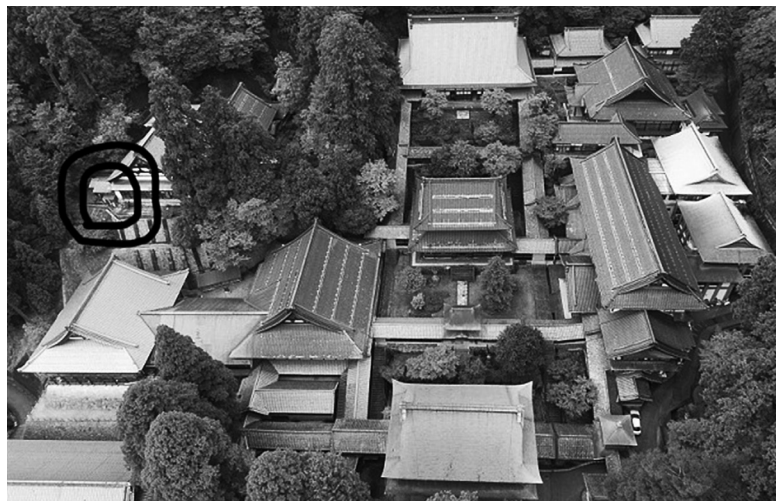


永平寺修行僧御用達の目覚まし時計
SEIKOのライデン

を拭いていた時立ちながら意識が飛んで、寝ていたこともあります。その為休憩時間は至福の時間と言っても過言ではありませんでした。

普段寮員の荷物部屋は扉を全開にしていなければいけません。休憩時間は引き戸も障子戸も全て閉じます。作務衣姿の者もいれば着物姿の者もいます。各々目覚まし時計をセットし、顔に白いタオルをかけ睡眠に入ります。三十分といのはあつという間、目覚まし時計のアラームで現実に引き戻されます。みな「うーん」という寝起きの声を出しますがすぐ立ち上がり切り替えて各々の公務につきます。

また侍真寮の癒しとしてシャワーが格別でした。侍真寮裏には外付けのシャワー室がありました。私が転役したのは残暑が厳しい時期でしたので、体を動かすと汗がダラダラと噴き出していました。特に菓石後じまぼん（夕食）の進退慣らしをすると下着・襦袢じまぼんが汗でびしょびしょになりました。先転役の人から「裏にあるシャワー浴びると気持ちいいぞ」という声を聞きました。冬は雪で水道が凍ってしまい使用できないようので暖かい時期しか使えません。夜の行事までの僅かな時間でのシャワーは汗を流すすと



上空からの永平寺 ◎印の所にシャワー室

もに外に面している為、西日を浴びる解放感もあいまって至福のひと時でした。日々の公務でしんどい中でも密かな癒しの時間は今でも脳裏に焼き付いています。

（次回に続きます。）

オンライン 禅を聞く会のお知らせ

禅を聞く会の法話をインターネットで公開しております。パソコンやスマートフォンでオンライン視聴できます。



第
183
回

令和5年3月20日 金曜日
～令和5年5月20日 土曜日

釈尊と仏弟子 —初期仏典の物語—

東北福祉大学 学長
千葉県 宝林寺住職

千葉 公慈 老師



第
182
回

令和5年1月20日 金曜日
～令和5年3月20日 月曜日

『今、ここ』の生き方が ためされている

曹洞宗特派布教師
長野県 常輪寺住職

中野 天心 老師

法話の動画の視聴方法

◇パソコンの場合

インターネットで「曹洞宗 東北 禅を聞く会」で検索すると、「禅を聞く会」の特設サイトにアクセスし、視聴できます。

◇スマートフォンの場合

下記のQRコードからアクセス。



洞林寺婦人会の遠足

細目 章子

十一月十一日、婦人会の遠足に行つて来ました。行き先は名取市の熊野三山と中将藤原朝臣実方の墓、岩沼市の金蛇水神社。途中、美味しいお蕎麦屋さんで昼食を摂り、金蛇水神社カフェでお茶。この日は朝からいいお天気で、まさに行楽日和でした。境内の大きな銀杏の木が真っ黄色に染まり、お社屋根の朱色、真っ青な空、山の木々の緑が美しかったのを思い出します。毎月の婦人会といえ、本堂で般若心経をお唱えし、お位牌堂でご先祖様にお線香をあげます。そして方丈様のお話を聞きな



名取市の熊野神社 御神樂が有名です

がら、副住職、大奥様とともにお茶をいただき和やかな時間を過ごします。春秋彼岸には、お台所でお葛掛けやクルミ豆腐を作るのですが、コロナ禍で二年以上その出番はありません。今回の遠足第一弾は、副住職が婦人会のために無理のない行程を考えてくださいました。次回もまた楽しい企画を考えてくださるとのこと、楽しみにしています。

懐かしの昭和の記憶シリーズ No.4

仙台ホテル

伊藤 眞一郎

東北の玄関仙台駅西口青葉通り入口に有った老舗ホテルで、当時婚礼で当ホテルを利用するのは仙台市民のステータスだった。一八九六年（明治二九年）東北地方初の洋式ホテルとして開業。二〇〇九年その長い歴史に幕をおろし、十二月三十一日惜しまれながら営業を終了した。

前身は国分町にあった旅館「大泉屋」。一九四五年の七月十日の仙台空襲で被災。一九五四年、往事の九階建ての形として完成、当時日本を代表する帝國ホテルやホテルオークラから一目置かれる東北を代表するホテルだった。



在りし日の仙台ホテル

その後仙台の有名ホテル ワシントンホテル、ホテル仙台プラザ、三井アーバンホテル、国分町ホテルリッチなども次々と姿を消しその姿を思い浮かべる跡も無い。

破壊的カルトから 身を守るために 2

— 正体隠しの伝道は、違法です —

洞林寺住職

お盆号で表記の題の記事を書きました。

あの団体については、連日ワイドショーで詳しく報道されていますので、お檀家の方々で私よりも詳しい方も多いかと思えます。

注意していただきたいのは、正体を隠して近づいてくることです。長年、統一教会被害者救済のため活動している郷路征記弁護士は「正体を隠した伝道活動―偽装勧誘―の違法性について」という文章の中で判決文の解説を通して、統一教会側の行為の違法性を指摘しています。其の一部を引用して紹介させていただきます。

「原告（被害者）らに対して、被告側（統一教会）は統一協会という名称はおろか

宗教の伝道活動であることすら秘匿し（セミナーや占いに勧誘してきた。）

宗教教義として説明されるより、科学的言説を用いるなどして説明される方が、多くの人は、原罪や霊界・因縁が実在すると信じやすい。このことが明らかであるため、統一協会は、原告ら受講生が、原罪や霊界・因縁が実在すると信じ易い状況を作出するため、宗教性を秘匿するものと考えられる。しかし、宗教性を秘匿して人に信仰を植え付ける行為は、自由な選択に基づかないで隷属を招く恐れが強い。特に、統一協会の場合、入信後の宗教活動が極めて収奪的なものであるから、宗教性の秘匿は許容しがたいといわざるを得ない。」

統一教会の主要な関連団体の一覧表も紹介させていただきます。霊感商法の大理石の壺や印鑑の販売会社もあれば、「ピースロード」プロジェクトで政治家を巻き込んだ天宙平和連合（UPF）など多数あります。これからは更に巧妙に正体を隠しながら勧誘を図りマイノリティコントロールを仕掛けてくることも考えられます。くれぐれも注意致しましょう。

統一教会と関係を有する主な企業と団体（『月刊 住職』令和4年9月号より引用）

分野	企業・団体名
流通・金融	ハッピーワールド、クレジット銀行
マスメディア	世界日報、ニュース・ワールド・コミュニケーションズ、ワシントン・タイムズ、UPI、U-ONE テレビジョン、PEACE-TV、テイエムポス・テルムンド、ノテシマス・デル・ムンド、ウルテイマ・ノテシマス、ミドルイースト・タイムズ、平一企画、(株)光言社、成和出版社、世界思想出版社
薬品・食品	一和、グローバルビューティー、(株)ワールドシーフーズ
医療	HJ マグノリア国際病院、医療法人日心会、一心病院
自動車	パンダ自動車
その他の企業	一信石材、世一トラベル、世一旅行社、一成建設、一成総合建設、一成レジャー産業(株)、一関自動車学校、水沢自動車学校、(株)一興、(株)精進化学、統一航空(株)、龍平リゾート、美術世界、(株)男女美、(株)アラスカ、パインリース・リゾート、金浦航空団地、カール・アームズ、JWマリオットホテルソウル、ニューヨーク・ホテル、共栄、エム・ワン、サンハート・健美、エースセミナー、天運守護印、一心天助
宗教	世界平和超宗教超国家連合（IIFWP）、世界聖職者指導者会議（ACLC）、国際宗教自由連合（ICRF）、超教派基督教協議会、国際宗教財団、韓国宗教協議会、北韓平壤教会、韓日人教会
政治	国際勝共連合（IFVOC）、世界反共連盟（WACL）、アジア太平洋反共連盟（APACL）、アメリカ社会統一協会連合（CAUSA）、平和統一聯合（FPU）、平和統一家庭党、日韓トンネル研究会、国際ハイウェイプロジェクト、世界平和国会議員連合（IAPP）、世界戦略総合研究所、世界言論人会議（WMC）、世界言論人協会（WMA）、ワシントン・タイムズ財団（WTF）、東西南北統一運動国民連合（NCU-NEWS）、統一教会平和奉仕ボランティア隊、世界平和女性連合（WFWP）、世界平和連合、宇宙平和連合（UPF）、平和大使協議会、非政府組織世界協会（WANGO）、世界平和大陸・半島・島嶼国家連合
社会	全国祝福家庭総合連合会、世界平和青年学生連合（“IAYSP”又は“YSP”）、世界平和青年学生奉仕団（POP）、真の家庭運動推進協議会（APTF）、日本純潔同盟（PLAJ）、野の花会、国際救援友好協会（IRFF）、SHINZEN（しんぜん会）、国際救護親善財団、国際平和財団、国際医療奉仕団、社団法人ボランティア愛苑、蒙古斑同族世界平和連合（MPFWP）、国際家庭
文化	世界文化体育大典（WCSF）、リトルエンジェルス芸術団、ニューヨーク・シティ・シンフォニーオーケストラ、国際新希望合唱団、天父報恩鼓、Mr・Miss ユニバーシティ・コンテスト、世田谷郷土大学、名古屋郷土大学
教育・芸術	世界平和教授アカデミー、科学の統一に関する国際会議（ICUS）、学校法人鮮文学院、学校法人清心学院、清心神学大学院、ブリッジポート大学、キーロフ・アカデミー・オブ・バレエ、統一神学校、統一思想研究院、光の子園、国際文化財団（ICF）、韓国文化財団、国際教育財団（IEF）、原理研究会（CARP）
スポーツ	世界平和武道連合、鮮文平和サッカー財団、超宗教平和スポーツフェスティバル、統一武道、圓和道、城南FC
施設	HJ 天宙天寶修鍊苑、済州国際研修院、ナショナル・ウオンジョン霊園、尾瀬霊園

年 回 表

(令和五年)

一周忌	令和四年
三回忌	令和三年
七回忌	平成二十九年
十三回忌	平成二十三年
十七回忌	平成十九年
二十三回忌	平成十三年
二十七回忌	平成九年
三十三回忌	平成三年
三十七回忌	昭和六十二年
五十回忌	昭和四十九年
七十回忌	昭和二十九年
百回忌	大正十三年

◎御法事をなさる場合、一ヶ月前にはお申し込み下さるよう、お願い申し上げます。

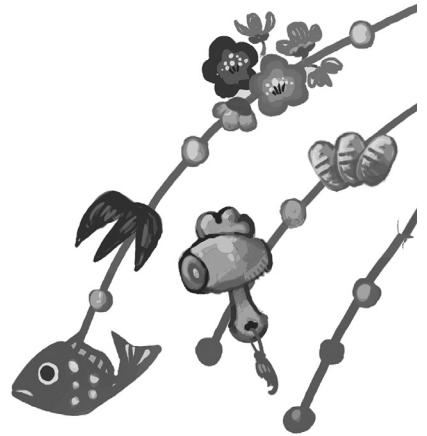


あ と が き

広報編集局長 佐々木 ひろし

新年あけましておめでとございます。いろいろなことが次々と目の前を通り過ぎて行った一年ではありませんでした。温暖化と異常な気候、物価高、エネルギーの危機、コロナコロナに振り回された数年、ウクライナとロシアのこと等々もう忘れそうになっていることもあります。並べてみます。

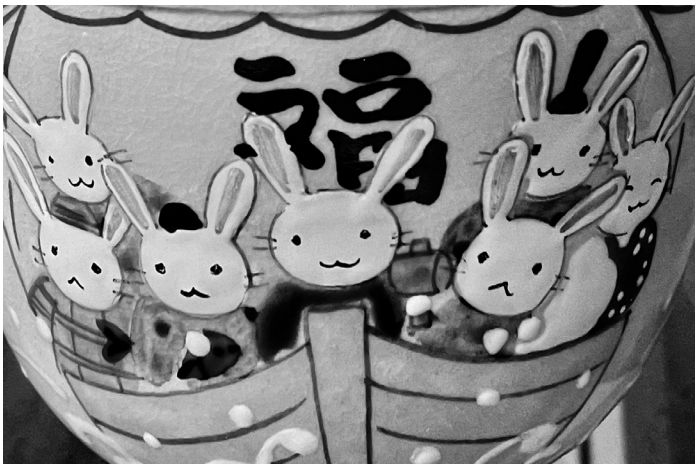
- ◇将棋の藤井聡太さん十代初の五冠
- ◇コロナ感染者国内で五百万人超え
- ◇宮城・福島で震度六強の地震
- ◇知床半島沖で観光船沈没



- ◇育英学園高校野球全国優勝おめでと
- ◇堀江謙一さん八十三歳ヨットで太平洋横断

- ◇安倍元首相銃撃され死亡六十七歳
- ◇五輪組織委員汚職
- ◇旧統一教会問題等々。

なにはともあれ平和でおだやかな年でありますように うさぎさん



七福神のうさぎさん 皆様に福が来ますように